

平成28年度 宮城第一高等学校 「志教育」年間指導計画

3つの視点		かわかる	もどめる	はたす	かわかる	もどめる	はたす	かわかる	もどめる	はたす	かわかる	もどめる	はたす	かわかる	もどめる	はたす				
各教科指導目標	国語	○	○	○	地理歴史	○	○	○	公民	○	○	○	○	数学	○	○	○			
	保健体育	○	○	○	芸術	○	○	○	外国語	○	○	○	○	家庭	○	○	○			
		言語感覚を磨いてコミュニケーション能力を高めるとともに、思考力や創造力を伸ばし、総合的な言語能力を養う。			宮城県や東北を基点とし、日本及び世界の形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色についての理解と認識を深めることで、日本及び国際社会に主体的に貢献する社会人として必要な自覚と資質を養う。			現代社会の諸課題について主体的に考察させ、理解を深めさせるとともに、人間としての在り方生き方についての自覚を育て、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。			事象を数学的に考察し、筋道をたてて考え、表現する能力を高め、判断力と問題解決能力を育てる。			自然科学に対する原理・法則を理解し、実験・観察を通して探究心を高め、現代社会の基盤となっている科学技術の発展に対応できる資質を養う。						
		心と体を一体としてとらえ、生涯にわたって健康の保持増進を図り、安全に気をつけさせ、明るく豊かな生活を送る生活態度を育てる。			多様な表現の実践を通して、自己を陶冶し、自他の感性を受容する資質や能力を養う。また、鑑賞を通して日本や諸外国への文化的教養を深め、長く芸術を愛好する心情を育てる。			英語の学習を通して、我が国や外国の生活や文化に対する関心を深め、多様なもの見方や考え方を理解させるとともに、自らの考えを英語で適切に表現できる能力を養う。			家庭生活の重要性への理解を深め、学習した知識技術を生かし、主体的に家庭・地域生活の問題解決に取り組む実践的態度を育む。			情報社会を支えるために何が必要であるか理解させ、知識・技術・役割を習得しながら、主体的に情報を活用・発信する能力を育てる。						
学年共通								各学年指導目標												
指導内容	①授業の予習・復習	○	○	○	1年	①自主的・主体的な学習態度の育成と基礎学力の充実 確固たる学習習慣 ②基本的学習習慣の確立 行事・学友会・部活動へ積極的参加 のぞましい学習環境の維持 ③進路目標の確立 面談や講演による適切な進路指導 学外機関との連携														
	②課題の提出	○	○	○		2年	①授業中心の学習遂行と意欲的・自律的な学習態度の育成 知的関心を高め視野を拡大する面談による自己理解と個に応じた指導 ②節度ある人間関係の構築 学校行事での責任ある役割への参加 ③進路志望の明確化 志望学部や大学研究と見学会や説明会への積極的参加													
	③読書意識の涵養	○	○	○	3年		①総合的学力の養成と自主的学習環境の整備 個に応じた教材提供と精神面での支援 ②最上級生としての自覚と指導性の発揮 心身の健康維持と社会への関心の育成 ③自己の能力適性の把握と進路決定 適切な進路資料の提供と、個に応じたきこまかな進路指導 進路室の活用													
	④挨拶の励行	○	○	○			⑤遅刻防止の徹底	○	○	○	⑥マナーの向上	○	○	○						
	指導内容		ねらい			指導教科等		実施時期		時数		かわかる			もどめる			はたす		
	1年	オリエンテーション・国数英ガイダンス・進路ガイダンス	国数英における主体的な学習態度の育成と基礎学力の向上を図る。学校生活を有意義に過ごすための方法を学ぶ。			総学		4月		5		○			○			○		
進路適性検査とその振り返り		自己理解を深めることで、自主的・主体的な学習を進めていく一助とする。			総学		4・5月		2		○			◎			○			
大学の先生に学ぶ		大学進学を含めた将来の進路を、社会との関わりも視野に入れ考える機会とする。			総学		4月		2		◎			○			○			
大学1年生の先輩講座		先輩方が進路を選択する際に考えたことやその過程についての体験を聞くことで、文理選択及び進路選択の一助とする。			総学		5月		1		○			○			○			
社会人講演会		社会人講師の足跡やその生き方に触れ、職業人としての在り方や自己実現や社会貢献について考えさせることで各自の進路選択の一助とする。			総学		5月		2		○			○			○			
歌合戦の準備と発表		発表やその準備において、主体性や創造性、責任感を養い、コミュニケーションや情報共有能力を高めながら、協働的な学習を行う。			LHR		7月		8		◎			◎			◎			
東北大学オープンキャンパス参加		多くの学問分野や最先端の研究に触れることで、学びへの意欲を高めるとともに進路選択の一助とする。			総学		7月		8		○			◎			○			
自己と表現		社会の問題について、その問題解決に向けてメリット・デメリットについて理解を深め、自分なりの考えを筋道を立てて発表する。			総学		9月		3		◎			○			○			
大学の教育による模擬授業		大学におけるリベラルアーツや専門教育の一端に触れさせることで、学びへの意欲を高めるとともに進路選択の一助とする。			総学		10月		4		○			○			○			
キャリアセミナー	関心がある職業に携わる社会人の話を聞き、職業への関心を高め、働くことの意義や生き方・在り方を考えさせる。			総学		3月		3		◎			○			○				
2年	進路部長講話「進路の手引き」活用	本校の進路状況や進路達成に向けての取組の流れを理解し、合格体験を読むことで希望進路達成に向けて計画を立てさせる。			総学		5月		2		○			○			○			
	社会人講演会	社会人講師の足跡やその生き方に触れ、職業人としての在り方や自己実現や社会貢献について考えさせることで各自の進路選択の一助とする。			総学		5月		2		○			○			○			
	教育実習生に聞く	先輩からより良い高校時代の過ごし方や学習への取り組み方を聞く。さらには大学での学修について知ることで進路達成への意欲を高める。			総学		6月		1		○			◎			○			
	歌合戦の準備と発表	発表やその準備において、主体性や創造性、責任感を養い、コミュニケーションや情報共有能力を高めながら、協働的な学習を行う。			LHR		7月		8		◎			◎			◎			
	オープンキャンパス参加	「学びたい学問」が学べる大学を訪問することで、学びへの意欲を高めるとともに進路選択の明確化を図る。			総学		7月		8		○			○			○			
	学問と志望学部	学びたい学問について理解を深め、それが学べる学部・大学について調べる。さらに志望理由書を書くことで進路選択の明確化を図る。			総学		5・9月		5		○			○			○			
	理数科施設見学会	最先端の技術や研究に触れることで、科学技術への関心を高め、学びへの意欲を高めるとともに進路選択の一助とする。			総学		10月		(6)		◎			○			○			
	大学の教育による模擬授業	大学におけるリベラルアーツや専門教育の一端に触れさせることで、学びへの意欲を高めるとともに進路選択の明確化を図る。			総学		10月		2		○			○			○			
	宿泊研修関係(事前指導・まとめ等含)	学術・研究施設や文化施設等を訪問し、進路意識や世界観を広げるとともに、主体的に学び行動する姿勢を育成する。			LHR・総学		12月		10		○			○			○			
3年	進路部長講話「進路の手引き」活用	本校の進路状況や進路達成に向けての取組の流れを理解し、合格体験を読むことで希望進路達成に向けて計画を立てさせる。			総学		4・5月		2		○			○			○			
	社会人講演会	社会人講師の足跡やその生き方に触れ、職業人としての在り方や自己実現や社会貢献について考えさせることで各自の進路選択の一助とする。			総学		5月		2		○			○			○			
	進路講話	外部講師の話を聞き、志望校に合格するための学習計画や学習方法について再検討させる。			総学		6月		2		○			○			○			
	教育実習生に聞く	先輩の受験期の過ごし方や学習への取り組み方を聞く。さらには大学での学修について知ることで希望進路達成への意欲を高める。			総学		6月		1		○			◎			○			
	歌合戦の準備と発表	発表やその準備において、主体性や創造性、責任感を養い、コミュニケーションや情報共有能力を高めながら、協働的な学習を行う。			LHR		7月		8		◎			◎			◎			
	進路説明会	希望進路と学習成績から、出願大学及び併願校の選定の仕方や出願に向けての注意点などについて理解を深める。			総学		8・9・11月		4		○			◎			○			
	志望大学を知る・オープンキャンパス参加	学びたい学問とそれが学べる志望大学について理解を深めることで進路意識を高揚させるとともに、受験に向けての対策について情報収集を行う。			総学		6・7・8月		9		○			○			○			
	センター試験について	大学センター試験受験の意義や重要性、出願や受験上の注意すべきことについて理解を深め、センター試験に向けての学習計画を改善させる。			総学		9月		3		○			○			○			